



11月の園だより

令和5年11月 富田林市立錦郡幼稚園

『寄り添う』ということ ～いのち涼しく～

かじつ うんどうかい ほごしゃ かぞく ちいき かたがた らいひん めい こ がた
 過日の運動会では、保護者やご家族、地域の方々やご来賓と100名を超えるみなさま方
 に、こどもたちのいきいき、のびのびとした演技や競技に臨む姿をご観覧、また大きな声援
 や応援の拍手をたくさんいただき、誠にありがとうございました。見てもらう人、応援し
 てもらう人という受け身である前に、自ら表現する人、つまり主体的に行動する集団と
 しての、またひとり一人の園児の姿に、運動会の『アレ!』、つまり感心・感激・感動の
 『三感王』の称号を贈りました。後日、保護者のみなさんより寄せられた感想には、実に
 多岐に渡るさまざまな想いがつづられており、『ソレ!』にも『三感王』を贈呈いたします。

また、先日のこすもすのつどいでは、おばあちゃんおじいちゃんをお招きして、合唱を聞
 いてもらったり、昔遊びを一緒にやったりと、楽しいひと時を過ごすことができました。
 また、本園教育内容やピオトープを中心とした自然環境にもたくさんの称賛をいた
 だき、ありがとうございました。

さて、心も体も一回り大きくなったこどもたちは、次へと動き出しています。大きなと
 ころでは、11月26日(日曜日)に3年ぶりの開催となる【ピオトープ大作戦2023】に
 向けての準備を始めました。メダカやヌマエビ、タニシなどの生物、多種にわたる草花、そ
 して、それらに近寄ってくるトンボ、バッタ、カエル、トカゲ等の動物、さらには私たち
 人間、すべての命あるものにとって、ピオトープが何故必要で、どうして管理、改修をし
 ていかなければならないのかということ、さまざまな作業を通じて考え、ともに学んで
 いきます。また今回も、保護者のみなさんをはじめ、日頃から助言・協力いただいている
 環境保護団体の方、大阪大谷大学の先生方や学生のみなさんなど、多くの大人の方にも
 参加していただく予定です。もちろん私たち職員もみなさんと一緒に、こどもたちの学び
 を支えながら、自らも学んでまいります。

「運動会が終わってから元気がないなあ」という子もいます。それぐらい運動会が楽しく、
 やりきったんだらうなあ。今のこの子の気持ちにも寄り添いながら、そしてこどもたちとも
 楽しみながら、ひとりひとりの、またすべての園児が共通の、ピオトープ改修も含めた次
 の『コレ!』を見つけ出せるよう一所けん命取組んでまいります。引き続き、錦秋の『に
 しこおり』に応援よろしく願いいたします。

えんちょう しおの よしかず
園長 塩野 義和

おたんじょうびおめでとう
 ほし組の子どもたちがお誕生日でした。

